第25期
中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

FANCL

株主のみなさまへ

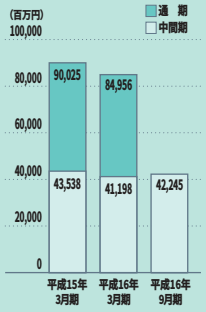
取締役会長
池 森 賢 二

代表取締役社長執行役員
藤 原 謙 次

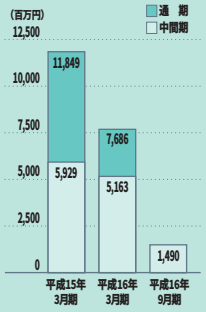
連結財務ハイライト

	当中間期（百万円）	対前中間期（%）
売上高	42,245	2.5
化粧品関連事業	17,852	5.3
栄養補助食品関連事業（旧健康食品関連事業）	14,850	4.4
その他事業	9,543	△4.7
経常利益	1,490	△71.1
中間純利益	148	△93.3
１株当たり中間純利益（円）	7.00	△93.0
総資産	76,796	△3.2
株主資本	65,185	△2.4

売上高



経常利益



株主のみなさまには平素より格別のご支援ならびにご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当中間期（平成16年４月～平成16年９月）のファンケルグループ連結決算について概要をご説明申し上げます。

当中間期の連結業績について

化粧品関連事業では、ファンケル化粧品の主力スキンケアブランド「フェナティ」のリニューアルを平成16年９月に行いましたが、リニューアル前の買い控えもあり、前年同期を上回ることができませんでした。しかしながら、「マイルドクレンジングオイル」のリニューアル効果、またアテニア化粧品が過去最高の顧客数となるなど好調に推移した結果、全体では増収となりました。

栄養補助食品関連事業（旧健康食品関連事業）では、ファンケル独自の新成分「ツイントース」配合のミネラルやコエンザイムQ10などビタミンの売上が増加したこと、また店舗販売が好調だったことにより、増収となりました。

その他事業においては、青汁事業や肌着・雑貨の販売が堅調に推移したものの、発芽玄米事業やいいもの王国通販事業（旧NGC通販事業）が振るわず、減収となりました。

以上の結果、当中間期の売上高は42,245百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は1,490百万円（前年同期比71.1%減）、中間純利益は148百万円（前年同期比93.3%減）となりました。

中期経営計画　初年度の取り組みについて

ファンケルグループは新たな成長を目指して、当期（平成17年３月期）より「中期三ヶ年経営計画（FANCL Change & Challenge Plan）」をスタートしております。初年度を「変革・構築の年」と位置付け、平成16年５月に営業力の強化、顧客政策の強化、広告宣伝・情報誌制作の強化を目的とした組織変更を実施いたしました。さらに10月の組織変更では、新たにマーケティング本部を設け、メーカー機能と販売機能のより一層の連携強化に取り組んでおります。また医療・医薬機関向けの卸販売を目的とした第四営業本部を設け、さらなる営業力強化を図ってまいります。

店舗については、当中間期には出店10店舗、閉店１店舗、業態変更９店舗、既存店改装27店舗を行い、151店舗を展開してまいりました。また、昨年より実施しているスーパーバイザー制度や店舗スタッフのカウンセリング販売強化により、店舗オペレーションの体制の確立を推進いたしました。今後は、店舗網の拡大と接客カウンセリングの強化で、安定的な成長基盤を確保してまいります。

ファンケルグループは、中期経営計画を軸として変革と挑戦に取り組み、新たな成長を目指してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期三ヶ年経営計画

FANCL Change & Challenge Plan

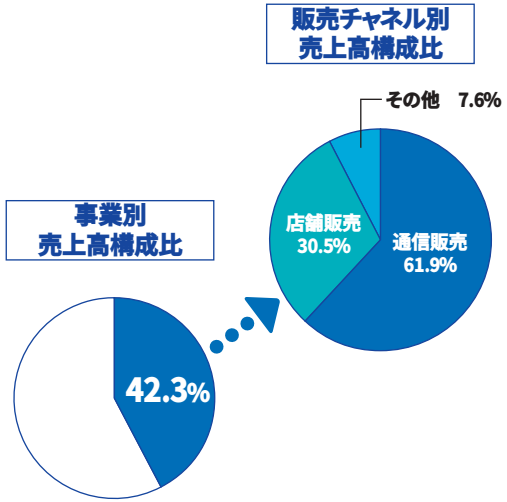
「もう一度成長を取り戻すプラン」

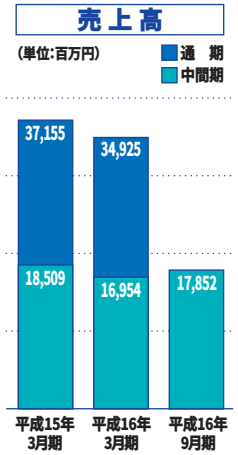
成長性と収益力の回復を目指し、
①各事業の位置付けと方向性の明確化
②製品と販売チャネルの最適化
を図ってまいります。

各事業の位置付け		事業の方向性	販売チャネル
コア事業（収益性を重視）	化粧品関連事業	・ファンケル化粧品は主力製品を明確にし、機能性を重視した製品開発を進める	・それぞれの事業に適した販売チャネルの強化 ・積極的な店舗出店
コア事業（収益性を重視）	栄養補助食品関連事業	・主力製品を明確化するとともに多品種の品揃えを整理 ・研究開発力を基盤として独自素材をベースにした高付加価値製品を投入	
成長事業（成長性を重視）	発芽玄米事業 青汁事業	・品質面の優位性を確保し、売上の拡大と流通の効率化により収益性の改善を図り、黒字化を目指す	

	H16.9（実績）	H17.3（計画値）
ファンケルハウス	108	104
ファンケルハウスJ	23	52
元気ステーション	9	9
アテニアショップ	8	9
その他	3	3
合計	151	177

化粧品関連事業





化粧品関連事業の売上高は、17,852百万円（前年同期比5.3%増）となりました。そのうち、ファンケル化粧品は13,148百万円（前年同期比3.2%増）、アテニア化粧品は4,571百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

販売チャネル別では、通信販売の売上高は11,059百万円(前年同期比4.8%増)となりました。ファンケル化粧品は、平成16年８月に「マイルドクレンジングオイル」、９月に主力スキンケアシリーズ「フェナティ」のリニューアルを行いました。「フェナティ」の売上はリニューアル前の買い控えもあって前年同期を上回ることができず、他のスキンケアシリーズも減少に歯止めがかかりませんでした。しかし、「マイルドクレンジングオイル」の売上はリニューアル効果により増加し、メーク製品や夏限定製品も堅調に推移したことにより、ファンケル化粧品の売上高はほぼ前年同期並みの6,805百万円（前年同期比0.2%減）となりました。一方、アテニア化粧品は、効果的な広告宣伝活動と販売促進活動により顧客数は中間期末時点で過去最高の41万人となり、売上高は4,251百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

店舗販売は、店舗スタッフの教育強化やオペレーションの見直し、店舗改装などにより既存店の売上高が増加に転じ、売上高は5,438百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

その他の販売チャネルは、香港を中心とした海外向けが増加し、売上高は1,353百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

Close Up

究極のクレンジングオイル

「マイルドクレンジングオイル」リニューアル

大人気定番商品「マイルドクレンジングオイル」をナノテクノロジーを駆使した画期的なクレンジングシステムによりさらに進化させ、リニューアル新発売いたしました。発売に伴い、より多くの方に新しい「マイルドクレンジングオイル」の品質、使いやすさを実感していただくためのキャンペーンを、札幌・新宿・名古屋・大阪・福岡の５都市のイベントスペースおよび銀座ファンケルスクエアで開催し、街頭サンプリングを行いました。

リニューアル 3つの進化ポイント

1. ファンケル独自のクレンジングシステムによる抜群のクレンジング力
2. 徹底した肌へのやさしさ
3. 濡れた手でも使える

やさしさはそのままに

「フェナティ」シリーズがリニューアル

安心の無添加はそのままに、新しいうるおい機能をプラスして、「フェナティ」シリーズが新しくなりました。当社の調査で、肌質を問わず約９割の女性に肌の不調の原因になる“隠れ乾燥”が潜んでいることが分かりました。新「フェナティ」は、今までの肌の水分を保持するバリア機能の強化に加えて、うるおい成分（ラフィノース）を配合。肌表面だけでなく、角層奥深くの部分的な乾燥である「隠れ乾燥」に直接にアプローチし、キメふっくらの「うるおい美肌」を実感できます。

4つのリニューアルポイントと特長

1. 化粧液・乳液に新しいうるおい機能を追加
2. 「セルマイドエッセンス」にターンオーバーを高める機能を追加
3. しっとりタイプの乳液を新発売
4. 全アイテムのパッケージデザインを一新

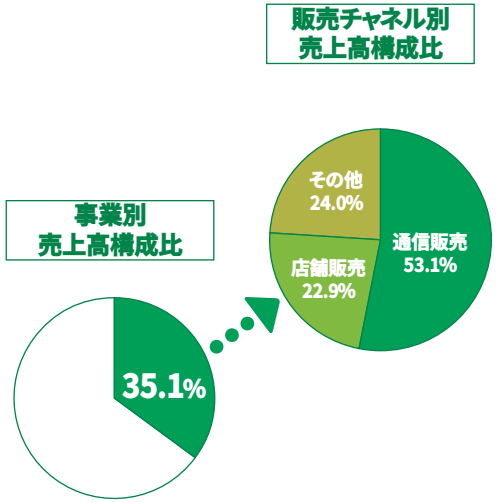
アテニア化粧品

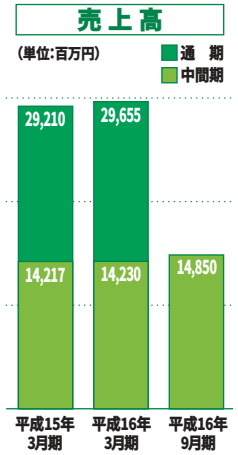
アテニア15周年の総力の結晶

「ナイトホワイトCC」新発売

肌の生体リズムを研究し続けてきたアテニアは、夜の美白リズムに着目し、夜用集中薬用美白美容液「ナイトホワイトCC」を発売いたしました。純度が高く、肌になじみやすい厳選された「高精製海洋コラーゲン」を50%という高濃度で配合。さらに最先端技術と贅沢な美容成分を惜しみなく投入しながらもお求めやすい価格を実現。まさに「高品質・低価格」というアテニアの企業理念を凝縮させた新製品です。

栄養補助食品関連事業（旧健康食品関連事業）





栄養補助食品関連事業の売上高は、14,850百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

北海道大学、日本甜菜製糖株式会社と共同開発した新成分「ツイントース」を配合したミネラル４品目を平成16年４月、５月に改良発売しました。

通信販売は、顧客数が回復せず、売上高は7,889百万円（前年同期比0.2%減）となりました。製品別では、ツイントース配合のミネラルやコエンザイムQ10などビタミンの売上が増加しました。コエンザイムQ10は値下げ効果や健康情報TV番組で取り上げられたことにより記録的な売上を上げることができました。しかし、サポートシリーズやダイエット関連製品の売上減少をカバーするには至りませんでした。

店舗販売は、化粧品販売が中心のファンケルハウスでの販売が好調だったことおよびファンケルハウスに比べ栄養補助食品の売上が多いファンケルハウスJ（旧ファンケルスタイル）の出店を行った結果、売上高は3,403百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

その他の販売チャネルでは、コンビニエンスストア向け販売は伸び悩んでおりますが、香港を中心とした海外向けが増加したことにより、売上高は3,557百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

Close Up

ファンケル独自の新機能成分

ツイントース配合のミネラルサプリメントシリーズ

日本人の慢性的なミネラル不足が深刻化するなか、当社はツイントースの働きに注目し、平成13年11月より国からの研究助成金を受け、北海道大学、日本甜菜製糖株式会社との産官学の共同研究プロジェクトとして研究に着手。ヒトにおけるミネラル吸収促進作用やそれに伴う骨形成促進作用などの機能性を発見するとともに、世界初の大量生産技術を確立し、製品化いたしました。新成分ツイントースは、爽やかな甘さ、加工特性の良さから、今後はさまざまな食品への応用が期待されています。ツイントースのさらなる機能解明に向けた研究は、これからも続けてまいります。

カルシウム不足が気になる方に

パワー不足や美容が気になる方に

不足しがちな鉄を効率よく補給

10種類のミネラルをバランスよく

「ツイントース」は株式会社ファンケルの登録商標です

ツイントース豆知識

カルシウムに代表されるミネラルの吸収を助ける新機能成分。ミネラルが体内で吸収される際の入り口「タイトジャンクション」に新発想でアプローチ。ミネラル吸収に革命をおこすためファンケルが初めて製品化に成功した、独自の新成分です。

ツイントースの特徴

- カルシウム吸収率　約1.4倍にUP
- 吸収後体内保留率　約6倍にUP
- 骨の形成を促進
- 虫歯になりにくい

リニューアル新発売

ダイエット機能アップ
「パーフェクトスリムドリンクEX」

新たにL-カルニチン・コエンザイムQ10・ビタミンB1を配合して、さらに燃えやすく、さらに引き締まったボディに！

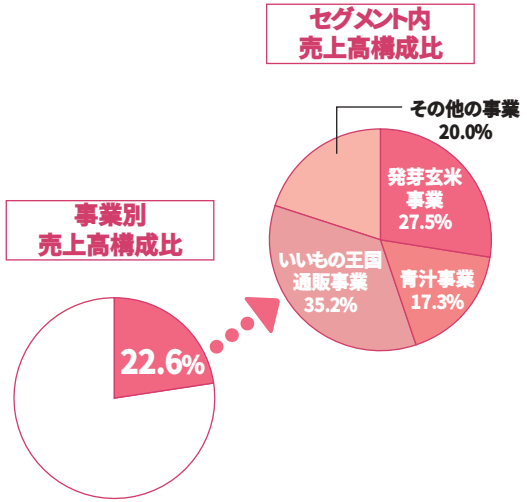
現代人に不足しがちな8種の栄養素が5粒で摂れる

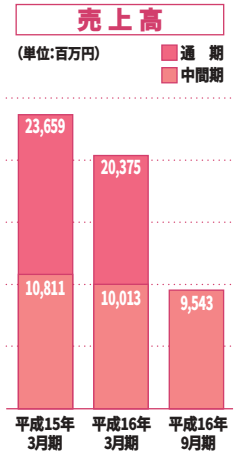
8種の基本栄養素と男性に人気のウコン・DHAを1パックに

8種の基本栄養素と女性にうれしいHTCコラーゲン・鉄を1パックに

コエンザイムQ10など注目の成分に加え、ツイントースもプラスして機能性アップ
「グッドチョイス」

その他事業





その他事業の売上高は9,543百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

発芽玄米事業は、新製法により味・香り・食感を大幅に改善した発芽玄米の販売を通信販売・店舗販売において平成16年６月より、OEM供給については９月上旬から開始しましたが、猛暑の影響もあって売上高は前年同期を下回り、2,626百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

青汁事業は、天候不順による原料不足により中止していた冷凍タイプの販売を５月に再開し、７月にツイントース配合の粉末タイプを発売したことなどにより、冷凍・粉末タイプとも堅調に推移し、売上高は前年同期を上回り、1,651百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

いいもの王国通販事業（旧NGC通販事業）は、大幅な見直しを行ったカタログ販売が低迷し、他の媒体での売上も不振で、売上高は3,355百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

その他の事業は、肌着・雑貨の販売が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回り、1,910百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

研究成果を発表

- 発芽玄米摂取による高脂血症モデルの脂質代謝異常におよぼす影響に関する研究
- 発芽玄米摂取による健康状態に関する研究
- 発芽玄米摂取によるアルツハイマー型痴呆症予防効果に関する研究
- 発芽玄米を主食とした食事が、食後血糖値の上昇を抑制することに関する研究
- ケール青汁の飲用習慣と免疫血液検査および肌状態との関係についての研究

さらにおいしくなった「発芽米」

昨年１年間にわたり、インターネットで「発芽米」に関するアンケートを行った結果、「発芽米」がもつ栄養価は十分ご理解いただいている一方、食味・食感についてはさらなる向上を望まれていることが分かりました。そこで、食味・食感の改善を目指して研究を進めた結果、玄米の発芽から乾燥までの製造条件において、温度、水分、時間のコントロールが重要であることを発見し、コンピュータ制御による厳密な工程管理を行う独自の新製法を確立。栄養や機能性はそのままに、さらにおいしい発芽米に改良することに成功いたしました。

カルシウムの豊富なケールとツイントースの理想的な組み合わせ

「青汁粉末」にツイントース配合が新発売

携帯に便利な「青汁粉末」に、「青汁粉末 ツイントース配合」が加わりました。ファンケルでは、化学農薬を一切使用せず栽培したケールを、フリーズドライ製法で色・味・香り・栄養価をほとんど損なわずに加工しています。これに、ツイントースを配合することにより、青汁粉末のミネラル分の吸収率がアップ、効率よくケールの栄養を補給できます。ツイントースの自然な甘みが、青汁本来のまろやかさも引き立て、より飲みやすくなりました。

新業態店舗「ファンケルハウスJ」が登場

ファンケルハウスにジューススタンドをプラスした新しいショップが誕生しました。化粧品・サプリメント・発芽玄米・青汁の製品を取り揃え、性別・年齢を問わず誰もが入りやすいショップです。ジューススタンドでは、お好みのサプリメントを無料でトッピングできます。

「ファンケル シニア クラシック」を開催

当社は「シニアの元気なくして景気回復なし」のスローガンのもと、高齢社会における社会貢献の一環として「ファンケル シニア クラシック」を開催しております。第４回となる今大会は、平成16年８月20日～22日の３日間、静岡県の「裾野カンツリー倶楽部」を舞台に行われました。優勝賞金1,500万円、賞金総額6,000万円というシニアツアーにおいては最大規模の賞金を誇るトーナメントで、本大会の模様は、TXN系列全６局にて全国にテレビ中継されました。

ギャラリーの方には、青汁などの飲料や、骨量チェックコーナーなどが大人気。ご家族連れや毎年足を運んでくださるゴルフファンなど、多くの方に楽しんでいただけた活気あふれる大会となりました。

第４回大会優勝
横島由一プロ

サプリメントと医薬品の飲み合わせを検索する情報システムを開発

サプリメントと医薬品の飲み合わせについての問い合わせが急増するなか、当社では、医学博士・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師からなる「学術本部」を組織し、「サプリメントと医薬品の飲み合わせを検索する情報システム【SDI検索システム】」を構築しました。サプリメントと、医療用医薬品、一般薬の飲み合わせ情報が製品名から迅速に検索できます。平成16年４月より、このシステムを活用した電話相談サービスの受付を開始しています。

医療従事者向け機能性食品ガイドブックを発行

医療従事者にサプリメントを安心して活用していただくために、「医療従事者のための［完全版］機能性食品（サプリメント）ガイド」を京都府立医科大学吉川敏一教授・当社中央研究所所長辻智子により編纂し、販売を開始しました。科学的根拠に基づいた機能性・安全性・医薬品との相互作用情報などを紹介しており、食品成分やサプリメントについて医師に説明を求める患者さんが増えるなか、安全性について説明や指導に役立てていただくための実用書です。当社は医療とサプリメントの融合、さらなる健康への貢献に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。

新ＣＭスタート「無添加なひと」

当社のテレビコマーシャル「無添加なひと」シリーズの放映が８月より開始されました。つぐみさん、伊藤歩さんといった実力派女優をキャラクターに起用。つぐみさんが演じるまっすぐな性格の「無添加なひと」と伊藤歩さんが演じる友人役とのやりとりを通して、ファンケルブランドと企業姿勢を知っていただくことを目指し、今後もシリーズが続きます。

業績（連結ベース）

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前中間期 平成15年9月30日現在	当中間期 平成16年9月30日現在	前期 平成16年3月31日現在
（資産の部）			
流動資産	39,632	38,449	39,236
現金及び預金	17,473	14,765	15,828
受取手形及び売掛金	7,650	8,262	7,814
有価証券	7,732	7,733	7,732
たな卸資産	4,872	5,990	5,472
その他の流動資産	1,904	1,698	2,388
固定資産	39,721	38,347	39,242
有形固定資産	26,982	26,342	26,767
建物及び構築物	10,920	12,454	12,701
その他の有形固定資産	16,061	13,888	14,065
無形固定資産	2,102	1,383	1,636
投資その他の資産	10,636	10,621	10,839
投資有価証券	1,022	1,107	1,083
長期貸付金	1,014	1,007	1,007
保証金	2,407	2,480	2,502
その他の投資その他の資産	6,191	6,026	6,245
資産合計	79,353	76,796	78,479
（負債の部）			
流動負債	9,791	8,789	10,022
支払手形及び買掛金	2,721	2,904	3,172
その他の流動負債	7,069	5,885	6,849
固定負債	2,794	2,821	2,843
負債合計	12,586	11,611	12,866
（資本の部）			
資本金	10,795	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706	11,706
利益剰余金	49,756	50,144	50,528
その他有価証券評価差額金	18	22	54
為替換算調整勘定	△6	△4	△4
自己株式	△5,502	△7,477	△7,466
資本合計	66,766	65,185	65,613
負債・資本合計	79,353	76,796	78,479

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	当中間期 自 平成16年4月 1日 至 平成16年9月30日	前期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
売上高	41,198	42,245	84,956
売上原価	14,055	14,481	29,260
売上総利益	27,142	27,764	55,696
販売費及び一般管理費	22,252	26,471	47,926
営業利益	4,889	1,292	7,769
営業外収益	470	414	701
営業外費用	196	217	784
経常利益	5,163	1,490	7,686
特別利益	0	57	0
特別損失	1,143	281	1,472
税金等調整前中間（当期）純利益	4,019	1,266	6,213
法人税、住民税及び事業税	2,138	650	3,153
法人税等調整額	△351	466	△326
中間（当期）純利益	2,231	148	3,387

中間連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	当中間期 自 平成16年4月 1日 至 平成16年9月30日	前期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
（資本剰余金の部）			
資本剰余金期首残高	11,706	11,706	11,706
資本剰余金中間期末（期末）残高	11,706	11,706	11,706
（利益剰余金の部）			
利益剰余金期首残高	48,027	50,528	48,027
利益剰余金増加高	2,231	148	3,387
利益剰余金減少高	502	533	886
利益剰余金中間期末（期末）残高	49,756	50,144	50,528

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前中間期 自 平成15年4月 1日 至 平成15年9月30日	当中間期 自 平成16年4月 1日 至 平成16年9月30日	前期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,235	285	5,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,351	△810	△4,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,035	△542	△4,532
現金及び現金同等物に係る換算差額（差益：△）	△12	5	△20
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△1,164	△1,062	△2,808
現金及び現金同等物期首残高	26,370	23,561	26,370
現金及び現金同等物中間期末（期末）残高	25,205	22,498	23,561

会社情報（平成16年9月30日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市栄区飯島町109-1
本社事務所	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設立	昭和56年8月
資本金	10,795百万円
従業員数	647名　※パート・嘱託は除く
主な取引銀行	UFJ銀行 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行 横浜銀行

役員（平成16年11月11日現在）

○印 代表取締役
＊印 取締役

＊会長	池森賢二
○社長執行役員	藤原謙次
専務執行役員	余頃康之
＊常務執行役員	成松義文
＊常務執行役員	宮島和美
＊常務執行役員	中島純也
常務執行役員	針谷吉典
＊執行役員	山本　尚
＊執行役員	石渡健一
＊執行役員	須釜憲一
執行役員	圓山勝美
執行役員	芝　正二
執行役員	辻　智子
執行役員	池森行夫
執行役員	村上晴紀
執行役員	龍地敏典
執行役員	片瀬信郎
執行役員	矢島　明
執行役員	平野　豊
＊取締役	早川吉春
常勤監査役	山田鯛二
常勤監査役	池田文子
監査役	小関勝紀
監査役	米田康弘

（注）1. 取締役の早川吉春氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役の山田鯛二、池田文子、小関勝紀および米田康弘の4氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

連結子会社一覧

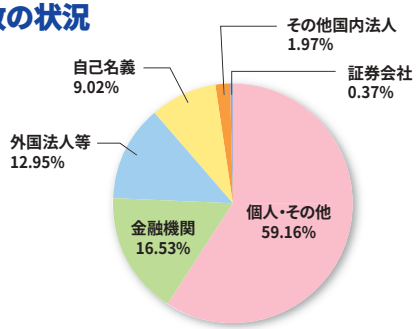
会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
(株)アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年 2月	100%	化粧品・栄養補助食品の販売
ニコスター(株)	横浜市栄区	10百万円	昭和59年 9月	100%	化粧品の製造
(株)いいもの王国	東京都渋谷区	160百万円	昭和37年12月	100%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
(株)ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年 8月	84.6%	発芽玄米の製造
FANCL ASIA (PTE) LTD	シンガポール	12,777千S$	平成12年 3月	100%	海外販売統括
(株)ファンケル美健	横浜市栄区	75百万円	平成14年10月	100%	化粧品・栄養補助食品の製造

株式情報（平成16年9月30日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証1部）
会社が発行する株式の総数	77,946,000株
発行済株式の総数	23,392,200株
株主数	20,619名

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 （通話料無料）0120-232-711
同取次所	UFJ信託銀行株式会社　全国各支店
公告の方法	日本経済新聞に掲載 ※当社の決算公告は、第24期から貸借対照表および損益計算書を当社ホームページ（http://www.fancl.co.jp/）に掲載しております。

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、左記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

（通話料無料）
0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪支店証券代行部）

インターネットアドレス
http://www.ufjtrustbank.co.jp

お知らせ

単元未満株式（当社の場合は100株未満の株式）をご所有の株主さまが、当社に対し、その単元未満株式とあわせて1単元となるべき単元未満株式の売り渡しを請求できることとなりました。なお、単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。詳細は、当社名義書換代理人（UFJ信託銀行）へお問い合わせください。

FANCL

株式会社ファンケル

［本　　店］〒247-8577 横浜市栄区飯島町109-1
［本社事務所］〒231-8528 横浜市中区山下町89-1
TEL: 045(226)1200(代表)

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

http://www.fancl.co.jp/

環境に配慮して再生紙を使用しています。